

～勇気ある決断～

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 竹ノ内賢一郎
◆編集責任者/担当 副会長 上田康文 ◆制作・編集 第42期広報委員会/委員長 石原 効

10月例会開催

平成28年10月17日(月)米子食品会館にて政治ビジネス委員会担当の10月例会が開催された。



冒頭、竹ノ内会長より、16期会長の秦野OBが9月4日に永眠されたお話があった。お別れ会に参加した竹ノ内会長は、葬儀リーフレット

「次世代リーダーに伝えたいこと」で引用されていたエリック・バーンの言葉を紹介された。You can't change the past and other people(過去と他人は変えられない)。You can change the future and yourself(未来と自分は変えられる)。

続いて、委員長チームでは、匠委員会の村田委員長より、ご両親のビジネス経験から「然るべきタイミングで、然るべきビジネスを展開する」ことの重要性を学び、また、中央会では、ビジネスパーソンとしての礼儀作法や立ち振る舞いを学ぶことが出来たという話があった。

今回の例会は「米子市中心市街地再考～まちなかに賑わいを～」というテーマで、



講師兼パネリストとして、経済産業省タウンプロデューサー(米子市議会議員)杉谷第士郎氏、クルマナオキ建築設計事務所代表(米子建築塾)来間直樹氏、キミトデザインスタジオ代表(NPO法人まちなかこもんず)吉田輝子氏をお招きした。



まず田中委員長から、米子市の中心市街地は衰退の一途を辿っている。時代の流れなのかもしれないが、もっとみんなに興味・関心を持ってもらいたく、本例会を実施したと趣旨説明があった。

例会第1部の取組事例紹介では、杉谷氏から、空き店舗のリノベーション、経済産業省からの補助金等の創業支援事例が紹介された。また、来間氏からは、AIR475という芸術家に米子に住んでもらい、色々な展示を米子でもらうというプロジェクト紹介があった。そして、吉田氏からは、空き家活用として、わだや小路(レンタルオフィス、ゲストハウス)の紹介があった。

例会第2部のパネルディスカッションでは、お招きした御三方をパネラーに、政治ビジネス委員会の佐々木会員、永井会員



がコーディネーターを務めた。吉田氏からは米子市が観光の目的地になっていないのが残念であると話があり、杉谷氏からは、米子周辺にある豊富な観光資源へのアクセス起点と割り切った街づくりが重要であると話があった。また来間氏からは、廃墟も見方によっては魅力的で、中心地にお金をかけるという発想も転換期にきているという説明があった。

最後に濱田副会長より、お三方のお話より、分かっているようでよく分かっていなかった話がとても整理された。また、楽しい街づくりという視点も重要と考えさせられたと謝辞が贈られた。



(記事:松井)

10月例会を終えて

政治ビジネス委員会 委員長 田中 猛
(田中正夫建築設計事務所 米子事務所長)

第1回委員会にて年間事業計画を委員会メンバーに伝え、これまでメンバーと共に米子市中心市街地について勉強してきました。その成果を10月例会で皆様に発表した訳ですが、少しでも興味を持って頂けたでしょうか？

例会づくりのために3名の講師先生との打合せ、アンケート作成、資料作成、シナリオ作成をし、日程的にも作業的にも非常にハードな毎日でした。不本意ながら臨時委員会も何度か開催し、綱渡りのようなスケジュールの中、なんとか当日を迎えました。リハーサルは例会当日のみでしたが、2回通してみてもこれならいけると確信しました。

例会本番も委員会メンバーにそれぞれの役割をしっかりと果たして頂き、私個人的には想定以上の大成功となりました。前期の副委員長の時も同じ気持ちになったのですが、中央会メンバーはそれぞれが凄いい力を持っている。いざとなったら本当に頼りになると感じました。今回も皆の力を借りて、自分の思いが形になっていきました。普段は大変なことが多いですが、これこそが委員長をやった良かったと思える瞬間ではないかと思えます。

これからも委員会メンバーに支えられながら、しっかりと最後まで活動してまいりたいと思います。次回2月担当例会でも何卒宜しくお願い致します。

11月例会に向けて

広報委員会 石原 効委員長
(石原電気設備 代表)



遂に広報委員会担当の11月例会を迎えることになりました。11月例会のテーマは「情報発信の手段・手法・活用法」～特性を生かした情報発信～です。

第1部では、広報委員会のメンバーで県出向理事でもある(有)渡部専務取締役松井淳一氏を講師として、「効果的なメディア活用について」という演題で講演いただきます。様々なメディアの特性や傾向を整理した上で、その中でも無償でありながら大きな効果が得られる「プレスリリース」の手法・活用法についてお話いただきます。

第2部では、平成29年5月に予定されている当会の継続事業「第2回大山お地蔵様フェスティバル」を題材にプレスリリースのタイトルを会員に議論してもらい、プレスリリースの手法・活用法を身に付けていただきます。

広報委員会として、会員企業の広報に活用していただきたく企画致しましたので、宜しくお願い致します。

OB会員交流会・親睦ゴルフ大会

9月24日(土)、旬の旨いもんや海王にてOB交流会(新OB会員認証式及び歓迎会)が開催されました。

土井OB会長から「西部青年中央会の看板を一生背負っていくことを忘れないように」との言葉が新OBに送られました。

交流会に先立ち、グリーンパーク大山にて親睦ゴルフ大会が開催されました。優勝は片山OB、準優勝は小川OBでした。おめでとうございます。



社長就任

株式会社ホクシン 代表取締役社長 濱田 修



約3カ月前になりますが、去る8月19日に所属企業であります株式会社ホクシンの代表取締役社長に就任させて頂きました。余談ですが、当社は約42年前に当会のOBでもある私の父が創業した会社で、丁度私の年齢とはほぼ同じ年月の社歴がありますので、そういったところからも会社を継ぐということは何となく感慨深いものがあります。数年前より、会社の代表権は前社長と私の二人が持っていたのですが、それでも社長の立場と専務の立場というのは確実に色々な意味で重さが違うと思います。社員、そして中央会会員の方々を含めた地域の皆さんのおかげがあってこそこの当社であるということ肝に銘じ、社業が発展していくよう邁進していく所存ですので、これからもどうぞ宜しくお願い致します。

株式会社サンイントウエイ 代表取締役社長 中村友紀



この度平成28年10月1日に弊社サンイントウエイの代表取締役社長に就任しました。就任の際には沢山の方々にお祝いのお言葉を頂き、ありがとうございます。10月例会後の懇親会では会員の皆様にも祝って頂き、大変感謝しております。

懇親会の時の挨拶で言わせて頂きましたが、私は弊社に11年前に入社し、当時23歳でした。2年後の25歳の時に当会に入会させてもらい、9年間中央会と稼業に励んで参りました。現場の営業マンから管理者・経営者へと転身して参りましたが、私は非常に恵まれていました。困ったことがあれば先輩や仲間に相談できる環境が当時からあったことです。また経営者や幹部の方々と共に様々な活動をしたことで学ぶ機会も非常に多かったことです。中央会活動を礎としてこれからも邁進して参ります。まだまだ未熟者ですのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

後輩へ

角田 昭生

(東亜ソフトウェア株式会社 マネージャー)



私の入会推薦者の先輩に、入会前の面接の時は「とにかく全部出ると言いなさい。」と言われ、会社の社長から「会の中で、誘われたり頼まれたら、よほどの事情がない限り断るな。」と言われて入会をしました。

1年目は広報委員会に所属をしました。委員会と例会で月2回出ればよいと聞いていましたが、編集会議があり月3回出る事となります。更には様々な面で「新入会員」と言われ、なんだか忙しかったです。

本当に続けられるのか不安の中、2年目は委員会で会計係、3年目は書記係をする事となり、委員会が休めませんでした。

4年目以降は、中央会に自分の存在を何か残せないかを考えるようになりました。アンケートシステムを採用いただいた事や、本気で動画編集を行ない様々な意見をいただいた事では、普段の仕事では出来ない経験をしました。

係を与えられ続けられた事、何かの目標が出来た事もあり、現在まで委員会・例会は欠席をした事はありません。出席することは有意義な時間です。それには周囲の環境も必要です。会社に感謝をし、家族に感謝をし、中央会に感謝の気持ちでいっぱいです。

役員や委員長の経験をしていない私からですが、自分なりの楽しみ方を探してみませんか？

OB訪問 中国料理 大連

徳中志伸OB（第30期ご卒会）を訪ねて



今月のOB訪問は、30周年を迎えられました“大連”の徳中志伸OBを訪ねました。

中央会に入ったきっかけは、野球友達の岩田定治OB（第18期ご卒会）からの紹介だったそうです。異業種の様々な方と知り合うことができ、卒会してから10年以上経過した現在でも深い付き合いをされているそうです。

中央会生活の一番の思い出は、周年事業のゴルフコンペの準備で、案内はがきの文面を何度も書き直したり、その他様々な段取りなど、慣れないことばかりで大変苦労されたそうです。

現役会員には「宝物のような人間関係をぜひ築いて欲しい。互いの名前を呼び捨てにできるような深い付き合いができる場所で、仕事で苦しんでいるときでも、先輩などから必ずいい助言がもらえるはずだ。現役とOBで交流会など沢山の人数で交流するのもいいが、例えば委員会などで、数人のOBを招いて少人数で深い話をするのもいいじゃないかな」と提案と熱いアドバイスをいただきました。

ご多忙の中、取材をお引き受けいただきました徳中志伸OB、本当にありがとうございました。卒会を控えた私にも心に残る言葉を沢山いただき、感謝申し上げます。

（記事：宮田）

中央会 Q & A

徳中OBが周年事業のゴルフコンペで100人に案内を出されました。そのうち参加者は何名だったでしょう？

～答えはHPIにて～

委員会訪問 ～匠委員会～

10月6日（木）工房32豆にて開催された匠委員会に訪問いたしました。匠委員会は地域の伝統技術・名産・文化の保護・継承について考察しており、これまでの委員会を道場、お寺などで開催してきました。この度は陶芸工房で開催され、役員会報告や担当例会の議題では多くの質問や活発な意見が飛び交い終始真剣に議論が行われていました。

委員会後半の陶芸体験では西田美穂先生のご指導のもと、ロクロを使って湯呑み茶碗と小鉢の作成に取り掛かりました。さすが匠委員会。皆さん真剣にそして楽しそうに、陶芸に興じて

いました。そして完成した作品は誰しもう「自分の作品が一番上手」と言って譲りません。さすが勇猛果敢な匠たちの集まる委員会でした。

最後になりますが取材のお時間を頂き、さらに陶芸体験までさせて頂き、数々のご配慮ありがとうございました。

（記事：渡邊公平）



企業紹介 ～翔け新入会員～

鳥取瓦斯産業株式会社西部支店 白根和浩



1918年、鳥取ガスグループは全国でも稀な市民運動により誕生しました。以来、鳥取県東部における都市ガスの供給、県下全域におけるLPガスの供給を2本の柱として、お客様のお役に立ち続けることを使命として事業を営んで参りました。

本年4月電力供給が全面自由化、来年4月には一部都市ガス供給が自由化され、今まさにエネルギー業界は大変革時代に突入しています。このような状況の中、私どもは昨年鳥取市と協同し『とっとり市民電力』という会社を立ち上げ、4月より電力供給を開始しました。地域で生まれた再生可能エネルギー（電力）を、地域で使う【地産地消】、地方で消費されるエネルギーコストが大都市に流れ込むのではなく地方で循環する【地域経済の循環】、この2点をコンセプトとしています。

また水素時代の到来をにらみ、鳥取県と協同で本年度中に弊社グループの敷地内にスマート水素ステーションを建設し、実証実験を行います。太陽光発電を使って水を電気分解して水素を製造し燃料電池車に充填、その車両からスマートハウスへ電力を供給します。学習施設も併設しますので、開設の折にはぜひお立ち寄りください。

鳥取ガスグループは、全てのエネルギーを地域に供給し、社会から必要とされる総合エネルギー企業を目指します。

鳥取瓦斯産業株 URL



山陰フェンス工業有限会社 安藤睦男



平成28年10月に入会致しました山陰フェンス工業有限会社営業の安藤睦男と申します。

当社は米子市淀江町に事務所があり、お菓子の寿城のすぐ後ろの団地に事務所を構えております。創業は昭和45年4月、会社設立は昭和61年6月です。おかげさまで今年で創業46年となりました。

仕事内容としては、会社名のとおりフェンスの施工・販売をメインで行っております。現在は建設現場、土木現場におけるフェンスの施工、道路落石防護柵の施工、道路ガードレール・ガードパイプの施工、野球場などの防球ネット施工、メガソーラー設置に伴うフェンス施工など様々な『フェンス』の仕事をして頂いております。また、最近では、個人のお客様からのご依頼なども徐々に増え、カーポート、土間、ウッドデッキなど様々なエクステリアのお仕事も徐々にではありますが行わせて頂いております。

今までは道路関係などの公共事業をメインにしておりましたが、今後は個人マーケットにも目を向け、様々な事業を展開できればと考えております。

中央会に入会させて頂き、多くのチャンス、出会いがあると思っております。そのチャンスを見逃さないようしっかりと勉強し、多くの学びを企業へ持ち帰りたいと思っております。

今後とも何卒よろしくお願い致します。

山陰フェンス工業有 URL



翔人になるために ～ de Japón ～

第42期会長 竹ノ内賢一郎

10月21日(金)鳥取県中部を震源とした地震が発生しました。ちょうどその時、大阪で講習を受けていたのですが、150名近い受講者の携帯地震速報が一斉に鳴り響きました。

画面に映し出された表示は『鳥取県震度6強』、事務所や家に電話をしても繋がらない、そんなときに思っていたのがLINE電話でした。これほどLINE電話が役立つとは思ってもよかったです。会員・家族・従業員の無事をすべて確認したのは発生から4時間後。米子ICでした。その後、会員さんの無事を確認しました。

何が起きるかわからない時代、我々も今一度、リスク管理を行い連携した行動をする必要があると痛感いたしました。未来あるこの地域・子供たち・地域経済をしっかり守っていきましょう！



勇気ある決断

副会長 秋里武信

今思い出すと本当に情けない話ですが、以前、先輩からご相談を受けた仕事をお断りしてしまったことがありました。その頃は現場も重なり余裕もなく「今、受けてできるだろうか?」「迷惑をかけてしまうのでは?」などと弱気な事ばかり考え「承知しました!」の一言が言えませんでした。

そんな時ある先輩から「お前は馬鹿か?商売人だろ?まず受けるんだがな!やり方はそれから必死で考えろ!」とお叱りを受け、その仕事を受注し悩み考えながらなんとか引き渡すことができました…が、ふと振り返ると「できたな」の一言。その時はじめて、仕事を受ける前に持っていなかったノウハウは受けた仕事の中にある事を学ばせて頂いたような気がします。それからは仕事でも中央会でも受けるが先、やり方はそれから考えるようにしています。

決断の時、そこには勇気どころか不安しかありません。しかし答えはほぼ決まっている筈。あとはやり遂げるという覚悟。それこそが真の勇気であると思います。

お誕生おめでとう



佐嶋 羽禾ちゃん

(佐嶋健一郎会員 第3子)
平成28年9月29日生まれ

予定日より少し早く第3子女の子が生まれました。

元気に生まれてきてくれた事に感謝しつつ、これからも頑張らなければと、父親としての責任を再確認しました。

人生、大きく羽ばたいてく

れたらという思いを込めて命名しました。

どうぞよろしくお祈りします。

私のこだわり

福本隆史(河崎植木園 副代表)

私のこだわりというお題でありますがお実は私、広島市出身であります。という事で広島東洋カーブについてお話をさせていただきます。

私は小学生の頃から野球をしておりまして。その頃はカーブの選手になる事を夢見て頑張っておりました。カーブといえば今年は1991年以來の優勝を決めて大変うれしく思っております。近年はカーブ人気が盛り上がり過ぎて観戦チケットさえなかなかとれない状況になっております。うれしいような悲しいような複雑な気分ですが皆様も一度マツダスタジアムにカーブの試合観戦に足を運んでみてください。そしてカーブうどんを食べながら観戦する、これが醍醐味です。以上ありがとうございました。

11月役員会報告

平成28年11月役員会が同月1日(火)米子市公会堂集会所1にて開催されました。

当日の主な内容は以下のとおりです。

- ・10月例会報告の件
- ・11月例会開催の件
- ・12月例会開催の件

詳細については各委員長にご確認下さい。

11月例会案内

と き:平成28年11月15日(火)19:00~21:00

と ころ:米子全日空ホテル

内 容:テーマ「情報発信の手段・手法・活用法」

～特性を生かした情報発信～

- ・講演 (有)渡部 専務取締役 松井淳一氏
- ・グループディスカッション

担 当:第42期 広報委員会

お知らせ

今川圭一会員

役職変更

(旧)有限会社光琳 取締役統括本部長

(新)有限会社光琳 代表取締役社長

〈新入会員〉



(積善委員会)
H28.10(H28年秋)入会
(推薦者)中村(友)
山内(正)

安藤 陸 男

山陰フェンス工業(有)

フェンス・ガードレール施工

〒689-3425 米子市淀江町佐陀322-23

TEL 56-5665 FAX 56-5812

(KT) 080-6621-6335

(EM) ando620@cap.ocn.ne.jp

O型
営業

S58.04生

〈コメント〉この度、入会させて頂きました、山陰フェンス工業(有)の安藤と申します。中央会のメンバーの一員としてしっかり勉強し、皆様と共に成長していきたいと思っております。

慣れない中、ご迷惑をおかけする事もあるかと思いますが、何卒よろしくお願い致します。

編集後記

10月例会での講師の方々を中心市街地への取り組みは色々な面でもとても勉強になりました。我々中央会も経済団体として講師の方々に負けない熱意とアイデアで地元発展に協力していきましょう(^^) /

(広報委員会 福島)